部等名	福祉保健部

件名	平成２０年度国民健康保険の決算状況について
経緯	平成２０年度県下２８市町村及び１国民健康保険組合の国民健康保険の決算状況をまとめたものである。　※参考　１国保組合：山梨県医師国民健康保険組合

内容

国民健康保険の決算状況は、次のとおりである。

（単位：千円）

区分		平成20年度	対前年度比増減		平成19年度
歳入総額	A	88,413,563	△5.6%	△5,269,343	93,682,906
歳出総額	B	87,139,663	△5.6%	△5,194,540	92,334,203
歳入歳出差引（形式収支）	(A-B)C	1,273,900	△5.5%	△74,803	1,348,703
国庫負担金等精算額	D	△386,813	△548.6%	△473,049	86,236
実質収支	(C+D)E	887,087	△38.2%	△547,852	1,434,939
前年度実質収支	F	1,434,939	△33.1%	△708,548	2,143,487
単年度収支	(E-F)G	△547,852	△22.7%	160,696	△708,548
一般会計等からの繰入	H	1,574,690	△4.3%	△71,304	1,645,994
財政調整基金への積立金	I	109,466	316.1%	83,156	26,310
実質単年度収支	(G-H+I)J	△2,013,076	△13.5%	315,156	△2,328,232

財政調整基金保有額	5,161,150	△13.1%	△778,255	5,939,405

○　形式収支（歳入総額から歳出総額を差引いた額）は、12億7,390万円余の黒字となり、甲府市を除く２８保険者が黒字であった。

○　実質単年度収支（一般会計からの法定外繰入れ及び財政調整基金の取崩し並びに財政調整基金への積立てなどを加減した額）は、20億1,307万円余の赤字となり、赤字幅は前年度と比べ13.5%、3億1,515万円余減少した。実質単年度収支が黒字の保険者は６保険者となり、昨年度よりも４保険者増加した。

○　歳入総額、歳出総額とも5.6%の減であった。

要因は、高齢者医療制度の開始に伴い、７５歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行したこと等による財政規模の縮小によるものである。なお、財政調整基金の総額は、51億6,115万円余で、前年度と比べ13.1%、7億7,825万円余減少した。

問い合わせ先　国保援護課　国保指導担当　直通０５５－２２３－１４６６　県庁内線３２６３